２　令和６年度の重点と具体策　教育目標「いきいき　わくわく　のびのび」

重　点	具　体　策
【重点１】 **自ら進んで，健康で豊かな生活を送るために，必要な習慣や態度を身に付ける。** 	(1)　保護者と連携し，健康な生活リズムや基本的な生活習慣の定着を図る。（早寝早起き朝ご飯，身の回りの始末，返事等） (2) 元気にあいさつし，集団で生活するための言葉や気持ちよい表現に気付かせ，あいさつをしようとする意欲を高める。そのために，まず，職員が手本を示す。 (3) 合言葉「自分の命は自分で守る」を理解させ，不審者や災害時の行動の仕方を発達段階に応じて指導する。 (4) 「食する園庭」において，育て，食べることや栄養教諭による直接指導，食材五感体験，米作り，カレーの日，愛情弁当等を通して，食育の充実を図る。
【重点２】 **学級・学年を超えた縦割り活動や幼保小連携による交流活動を充実する。**	(1) 話し合う体験を増やし，子どもたちで活動を進める機会を通して，主体的・対話的な姿を引き出し，自分たちで考え遊びや環境を作り上げる経験を積み重ねる。 (2) 教育方法の違いや教育内容の相互理解を図り，幼児期教育と小学校教育の学びの連続性を意識しながら，質の高い幼児教育を展開する。また，保護者の理解を得ながら，幼児期にふさわしい教育を行う。 (3) 高齢者や小・中学生等との交流により，園から中学校までの学びのつながりをつくる。
【重点３】 **豊かな心と健やかな体を育成するため，多様な動きや表現活動を取り入れる。**	(1) 体を動かすことの好きな子どもを育て，日常生活の中で基本的な動きを幅広く身に付けさせ，生涯にわたって運動やスポーツに親しむための土台をつくる。 (2) イメージを豊かにし，自分なりに描いたり，つくったりすることを楽しむ。 (3)　音楽に親しみ，感じたことを歌ったり，身体表現をしたりして楽しむ。
【重点４】 **幼稚園と家庭・地域が連携し，「共に子育て」という意識を共有し，子育て支援を充実させる。** 	(1) 季節の行事・地域の伝統に触れるなかで，旬の野菜などの食文化に触れさせる。 (2) 「たんぽぽ会」や帰りの会の読み聞かせや県立図書館の巡回図書，市立図書館の移動図書活用して，絵本や紙芝居などの物語に親しみ，経験したことを言葉で表現したり，相手の話を聞き，言葉の伝え合いを楽しむ。 (3)　子育て手帳を活用し，「市子育て基本条例」を周知する。また，「サラダクラス（家庭教育学級）」や園行事を通して，家庭教育を支援するための学習機会の提供や情報提供に努める。 (4) 家庭・医療・福祉・療育機関との連携を図り，個別の支援計画につなげる。多様性に対応した保育の在り方を探るための研修を継続し，専門性の向上に努める。 (5) 地域幼児ふれあい活動や小学校との交流を通して，地域ぐるみでの子どもの育成し，公立幼稚園のよさを積極的に発信する。